

題材名・単元名	学部	授業名（主たる教科領域）	授業者
新聞紙遊び ～かみなりどん遊び～	小	学級活動 2年1組 (生活)	

<ねらい>

新聞紙玉を袋に入れたり、新聞紙をちぎったりする。
新聞紙を使った活動を通し、教師や友達とやりとりして楽しむ。
遊び方がわかり、活動を楽しんだり、したい思いを伝えたりする。

学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
1. あいさつ 2. 始まりのうた 「♪つなげつなげ」 3. 絵本の読み聞かせ・模倣遊び 『かみなりどんがやってきた』	○教師や友達と手をつないで歌い、活動への気持ちを高める。 ○絵本の読み聞かせを見聞きする。 ○歌に合わせて教師の模倣をしたりして、手で体を隠す。	・絵本・歌詞カード ○模倣遊びで行う歌も歌いながら読み聞かせをする。 ◎示されたところを隠すことができれば「セーフ!」と言い、成功したことをみんなで喜ぶ。上手く隠せなかったときはくすぐって楽しませる。
4. ヘそ集め (玉入れ)	○床に撒かれた、ヘそに見立てた新聞紙玉をみんなで拾って袋に集める。	○絵本の内容と新聞紙が繋がるように、新聞紙玉は「ヘそ」とする。 ・新聞紙玉(40個以上) ・ゴミ袋 ・新聞紙10～20枚
5. 新聞紙破り ① パンチ ② 新聞紙おぼけ (新聞紙バルーン)をやっつけよう	○目の前に新聞を広げてもらい、カー杯パンチしたりちぎったりして新聞紙を破る。 ○セラピーマットに寝転がり、教師が振るバルーンの動きを楽しむ。 ○新聞紙バルーンを破り、集めたり舞い上げたりして遊ぶ。	◎ヘそを集めて「雷パワー」が高まり、パンチする設定で行う。 ・新聞紙バルーン(新聞紙8枚、クラフトテープ) ・セラピーマット4枚 ◎新聞紙の下にいる児童の安全に気をつける。 ◎児童同士が破った新聞紙をもってくすぐり合ったり、上からかけあったりしてやりとりし合えるように促す。 ・ゴミ袋(新品)1枚
6. 片付け 7. あいさつ	○新品のゴミ袋に新聞紙片を集める。 ○着席してあいさつする。	

<内容(工夫点など)>

絵本の内容と新聞紙での遊びをリンクさせるため、簡単なストーリー調にした。

新聞紙を破るとき、活動に気持ちを向けられるようモノクロの記事の面を児童側に向けるようにした。また、赤ペンで印をして破るところを示して注目しやすいようにした。

<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

模倣遊び、ボール遊び、感覚遊びと3つの遊びを取り入れたため、マンネリ化せず、児童は楽しんで取り組んでいた。ストーリー調の設定もスムーズに受け入れられた。新聞紙を思い切り破って楽しむことが主な活動であったが、カラフルな面を児童側に見せると、記事に注目して活動に気持ちを向けづらくなることがあったため、使用する面はなるべく地味なものにする必要がある。